

文化、スポーツで活躍した児童、生徒を顕彰 青少年健全育成の集い

2月3日、芦別市青少年健全育成市民の集いが市民会館で開催されました。

これは、スポーツ、文化活動で全道、全国大会などに出場した児童、生徒を顕彰するもので、今年度の対象は文化活動1人、スポーツ活動14人の合わせて15人。

また、「青少年の日」作文と「青少年育成運動」啓発標語で特選、入選に選ばれた15人に表彰状とメダルが贈られました。このほか、芦別市まちづくり推進事業として、オーストラリアに語学短期留学を行った芦別高校の生徒4人が体験報告を行いました。



小中高校生らが吹奏楽研修の成果を披露 合同演奏会を開催



2月3日、星の降る里ウィンズバンドプロジェクト主催の吹奏楽合同演奏会が開催されました。

これは、市内吹奏楽団体のレベルアップを目的に、北海道内の著名な指導者を招いて毎年研修を実施、演奏会はその仕上げとして行われているもので、今年で12回目。演奏会には、芦別小学校スクールバンド、芦

別中学校、赤平中学校吹奏楽部、芦別高校吹奏楽局、芦別市民吹奏楽団が出演して、それぞれアンサンブル演奏などを披露したほか、最後は出演5団体、総勢約100人により、「ブラジル」、「オーメンズ・オブ・ラブ」などを演奏。会場に詰めかけた皆さんは、大編成ならではの迫力を堪能し、盛大な拍手を送っていました。

振り込め詐欺防止啓発用マットを製作し、市内金融機関に寄贈

市と芦別警察署、芦別防犯協会は、「振り込め詐欺被害防止啓発用床マット」を製作し、市内の金融機関に寄贈しました。

このマットは、北海道の地方消費者行政推進事業交付金を活用したもので、市内の銀行、信用金庫などの各支店と郵便局用に計15枚が製作されました。

マットの大きさは縦95センチ、横150センチで、芦別美術協会所属の佐藤和実さんがデザインしたイラストと「ちょっと待って!! その振り込み本当に大丈夫?」の言葉が入っています。

2月14日に北洋銀行芦別支店で荻原市長らから金融機関に寄贈されました。



糖尿病と高血圧をテーマに市立芦別病院の羽根田医師が講演



2月17日、みんなで介護を考える会(榎本新代表)と市の共催による「市民講座」が総合福祉センターで開催されました。

これは、市民に健康な体でいつまでも元気に暮らすための知識を身に付けてもらおうと開催しているもので、今年で8回目。約130人が会場に詰めかけました。

今回は、市立芦別病院の羽根田俊医師が、「糖尿病と高血圧」をテーマに講演。「糖尿病患者さんの中には、高血圧を発症する人が増えているが、血糖の管理と厳格な血圧管理を行えばコントロールできる」として、食事や生活習慣の改善などを呼びかけ、参加した皆さんは熱心に耳を傾けていました。